

平成20年度 学校経営管理全体計画

大津市立日吉中学校

家庭・地域の実態

- ・ 4小学校区の地域関係団体や校園が協力し、青少年健全育成に積極的に取り組む姿勢が培われている。
- ・ 家庭の教育力を高める活動が推進されている反面、塾通いや習い事が増える等、親子の対話が減少している。
- ・ 経済的に不安定な家庭や生活基盤の弱い家庭が多くなりつつある。

学校教育目標

きびしく やさしく たくましく生きる生徒の育成
目指す学校像 切磋琢磨し躍動する学校
めざす生徒像
自ら学び、厳しく鍛える生徒 (自主・自律)
人のことを考え、思いやりのある生徒 (人間性)
協力して社会に貢献できる生徒 (社会性)

生徒の実態

全体的に人なつっこくて素直で無邪気である。生活基盤の弱さから基本的な生活習慣が確立できず問題行動を起こす生徒が増えつつある。また、全体的に規範意識が弱くなっている。不登校の生徒が増えつつある。生徒会活動、学年行事、地域のボランティア活動等に活発に取り組むことが出来る。学習に対する取り組みにやや主体性がなく学習面で課題をもつ生徒が多い。

生徒の具体的行動目標

1. 明るくあいさつをしよう
2. 服装、身なりを整えよう
3. おもいやりの心をもとう
4. 互いに教え教えられ、仲良く励ましあおう
5. すすんで学習に取り組もう

6. いじめや差別のない明るい学校をつくろう
7. 命を大切にし、健康な生活に努めよう
8. 根気強く最後までやり抜こう
9. 物を大切にし、学校を美しくしよう
10. ボランティア活動に進んで取り組もう

教育の重点

子どもが主体となって基礎・基本の力を身につけ
知識・技能を活用する学習活動の構築

授業づくりの観点

生徒が自分の考えを持ったり、判断したりする場面のある授業
生徒が主体的に学び互いに影響しあい磨き合う場面のある授業
一人ひとりを認め励ますことを忘れない授業
生徒の活動を生かした学習

人づくりの観点

汗を流す体験を通して、働くことの喜びの体得
人間相互の違いを認め、ともに生きていくことの大切さの認知
身の回りの差別に気づき、差別を許さない態度の育成
自分の思いや考えをはっきりともち、行動できる強い意志の育成

学級づくりの観点

生徒の具体的活動につながる学級目標の設定
学級活動の充実による自治能力の育成
リーダーの育成
生徒とのコミュニケーションを深める工夫
学年や学校行事を中心とした温かい学級集団づくり

生氣あふれる学校づくりの推進

地域に開かれた特色ある学校づくりの推進
「生きる力」の育成を重視した教育課程の編成と実施
学習指導法の工夫・改善による基礎・基本の確実な定着
豊かな心をはぐくむ道德教育の推進

心の通いあう生徒指導の推進
自らの生き方を考える進路指導の実践
同和教育の成果を生かした人権教育の推進
社会自立を目指す特別支援教育の推進

いのちを大切にし、たくましく生きるための健康や体力の育成
生きる喜びを体得する勤労・集団体験活動の充実
自然を愛護し、郷土に親しむ環境教育の推進
心身や生命の安全確保に対する意識の高揚
教育の今日的課題の解決に迫る教師の実践力の向上

校訓 「切 磋 琢 磨」

目指す教師像

- ・ たえず研鑽につとめ、実践力のある教師 (創意)
- ・ 愛情と情熱を持ち、生徒の個性を伸ばす教師 (熱意)
- ・ 責任感があり、生徒・保護者に信頼される教師 (誠意)